

母親委員会だより

H. 26 年 7 月発行

夏空がひとときわまぶしく感じられる季節となりました。いかがおすごしでしょうか？新一年生もすっかり学校生活にも慣れ、初めての夏休みですね。

母親委員会では、研修会や講演会に参加し、他校との交流などで得た情報を皆様にお伝えしていきたいと思ひます。

母親委員会について

母親委員会は各校母親委員長 53 名（小 38 名、中 15 名）で構成され、運営委員会での様々な情報交換や話し合いを通し、そこで得た情報を各自学校に持ち帰り、広報し活用する役割を担っています。

具体的な活動としましては、PTA 活動における母親委員の役割追求、市 P 連や各位 PTA における母親委員会の組織の確立、家庭教育における研修計画、学校及び各団体（地域）との連携などです。

春日井市では地域、学校、家庭でのコミュニケーションを通して、子育てや交流を図ることを推奨しています。我が藤中ブロックでも学校を通じ、各家庭に研修会等のお知らせをしています。

研修会やボランティア活動を通し、各学校の保護者様の交流が深まるような楽しい研修会を企画運営していきます。

スマイルネット春日井

子どもたちにとって安全なまちづくりを進めていくためにはまず、私たち保護者が、「自分の子どもは自分で守る」という認識をもつこと、そして、保護者自身も地域の一員として、安心・安全なまちづくりに参加することです。「地域の安全は、地域で守る」の防犯意識を高め、見守りの雰囲気を作っていく必要があります。

スマイルネット春日井は、春日井市各校でも普及活動に取り組んでいますが、市 P 連や母親委員会は、このスマイルワッペンを積極的に推進する立場をとっています。

スマイルネットの活動はワッペンをつけるところから始まります。

学校に出かけるとき、あいさつ運動や見守り活動、資源回収のとき、パトロールのとき、また日常の散歩やジョギング、買い物に出かけるときなどにご活用下さい。こうした活動は、犯罪抑止の大きな原点となります。

子どもたちはこのワッペンの方は地域や学校の保護者だと認識しています。

起きるかもしれない犯罪を未然に防ぐ・・・

このことが子ども達を守っていく第一歩となるのではないのでしょうか？

申し込み問い合わせは各校
教頭または母親委員まで

春日井市内の各ブロックの**母親委員会だより**が下記よりご覧いただけます。

<http://www.schoolweb.ne.jp/ka sugai/pta/>



“安全・安心を見守る活動”





活 動 報 告

- 4/16 新旧母親委員長引き継ぎ
5/26 藤中ブロック母親委員会総会
西藤山台小学校
6/16 藤中ブロック
第1回母親委員会研修会
藤山台小学校
「知って損のない占いのお話」
講師 手相アドバイザー - NOBUKO 先生



- 6/19 市P連研修会
第1回母親委員会運営委員会
グリーンパレス
講演「子供の気持ちがわかる
会話術」
講師 ウィメン・カンセリング 名古屋 YWCA
フェミニストカウンセラー 増井さとみ氏
7月 母親委員会だより 第1号発行



活 動 計 画

- 10/3 第2回母親委員会運営委員会
10/20 藤中ブロック
第2回母親委員会研修会
藤山台中学校
「ケバージュ作り」
11/5 車椅子磨き奉仕活動
春緑苑
※たくさんの方のご参加をお願いします。
12/4 第3回母親委員会運営委員会
1/15 春日井市小中学校
PTA 研究発表大会
2/13 第4回母親委員会運営委員会
2月 母親委員会だより 第2号発行

その他に、母親委員会運営委員会等に出席予定です。

総会では、最初に今年度の活動予定を承認して頂きました。
続いて西藤山台小学校 岡田校長先生から「防災について」のお話を聞かせて頂きました。今後、東海地方で巨大地震が起きるのではないかとされています。常日頃から地震が起きた時にどこにどのように避難するのかなどを家族と事前に話し合っておくことや、地域全体で連携し備えておくことが重要だと改めて感じました。皆様も一度、ご家族で話し合いを試みてはいかがでしょうか。

講師として、手相アドバイザーのNOBUKO 先生をお迎えして「知って損のない占いのお話」講座を開催しました。手相の簡単なレクチャーや星座を基にしたタイプ別の接し方などを教えて頂きました。軽快な名古屋弁で子育てや普段の生活の話を面白く交えながらの2時間は、笑いが絶えずあっという間に過ぎました。

先生の「占いは信じ過ぎず、うまく利用するとよい」の言葉通り、まさに「知って損のない」お話をこれからの生活にうまく役立てたいと思いました。

6月のグリーンパレスの講演で「今日は体験してほしい」と何度も口にされた講師の方は、2つのテーマを参加者に体験させてくださいました。

体験テーマ「気持ちの良いポジショニング」では、願い事をする場合の8つのポジションをペアになった方と実演しました。例えば、相手が正面にいる・お互いに向き合っている場合は約束事を決めるのに有効、お互いが真横に並び正面を向いている場合はチームで何かするときに向く平等な位置、お互いが真横に並び少し向き合っている場合は親和の位置とあって親しい関係になりたい時に有効な位置などの違いがあり、同じ「お願いね」の言葉が、座る位置やさらに視線の高さを変えるだけで命令調にも優しく頼まれているようにも違って受け止められることを体感できました。

もう一つの体験テーマは「ほめる」。ペアになった方と1分間ずつ褒めあう。1分間も褒められると照れてこそばゆい思いをしましたが、やっぱり嬉しかったです。子どもをいっぱい褒めて、こんな気持ちにさせたいなと思いました。

「スポットライトをイメージしてください。子どもにできない事ばかりを注意してそこにスポットライトを当て、周りの良い所を暗く見えなくさせるのではなく、できる事にスポットライトを当てて、たくさん褒めてあげてください。」

講演の中で聞いたこの言葉を日々の子育てに生かし、ぜひとも「褒め上手なお母さん」を目指したいものですね。